

# 町長メッセージ

## 敬老の日之际して



黒潮町長 松本 敏郎

敬老の日にあたり、皆さまのご長寿を心よりお祝い申し上げます。あわせまして、皆さまには、長年にわたり黒潮町の発展にご尽力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

本来であれば、直接お祝いを申し上げたかったところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、このような形でお祝いの言葉をお贈りさせていただきます。

今年度、100歳以上とされる方は9月15日現在で25名おり、そのうち、今年度100歳を迎えられる方は9名です。ここ数年で一番多い人数となっています。また、高知県全体としても100歳以上の方は増加しています。

時代は大正、昭和、平成と変遷し、令和を迎えました。これらの時代を生きてこられた皆さま方は、その人生で得られた知識や経験、あるいは多くの人との絆という、何物にも代えがたい宝物をお持ちです。皆さまには、これからも地域を支えていただき、誰もが健康で安心して生きがいを持った生活を送っていただきたいと思ひます。

さて、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、町におきましては多くの事業が中止となっている状況でございます。皆さまにおかれましても、日常生活にさまざまな制約が生じていることと存じます。町といたしましても、ワクチン接種を含め、感染拡大防止に全力で取り組んでおります。

皆さまには改めましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、皆さま方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

### まほろば Vol.18 くろしお

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



合同会社黒潮エコアグリ  
代表社員 今倉 俊和さん  
所長 今倉 泉さん

#### キュウリの水耕栽培を始めたきっかけは?

私(俊和さん)の本業は、園芸資材を扱う会社なんです。ハウスの建設などに関わる仕事をやる中で、現場に行けば農家の方が見ながら、その仕事を見ながら「農業もいいな」という興味がありました。また、ハウスのメンテナンスの仕事は、農家さんが収穫作業を終えた6、8月頃の夏場が多く、収穫期となる冬期は、私たちにとっては閑散期となり、雇用している従業員の安定が課題でした。

この課題解決に、興味のある農業で何かできないかと。そこに、水耕栽培のシステムを取り扱っている業者から、「知り合いの農家さんで興味のあるような業はないか」との営業があり、「これだったら解決ができるかも」という感じ、昨年9月に開

始しました。妻も私も、農業は全くの初心者なので、アドバイザーの方など、先輩方に助言をいただきながら励んでいます。園芸資材の会社で勤めてくれていた従業員も、一緒に作業をしてくれています。

#### 水耕栽培のメリットなどを教えてください。

水耕栽培では、収穫後から次作に向けての土壌の整備などが必要ないため、すぐにまた定植することが出来ます。また、病気にかかると止められること、土を使わないので、綺麗な職場ということも魅力だと思います。



水耕栽培のハウス内部



従業員とともに作業をする今倉さん(写真右)

今、一番のやりがいや目標は何ですか? やっぱ農業は、自然、緑による癒しが良いですね。キュウリの様子を見ながら話しかけたり、アルバイトで来てくれる若い子たちにもそうして欲しいと伝えています。

今はまだ素人なので、キュウリが病気になることもその症状が目に見えてからでないという付かないなど、全てが「後追い」になってしまっています。細かいことには、ビッグデータで気づけるかが大事だなと。キュウリと会話しながら、変化に気づけるよう日々勉強しています。

広報に掲載しきれない内容や取材の裏話を町公式Facebookで紹介します。裏表紙のQRコードからご確認ください。